

平成 28 年度河川レンジャ一年間活動計画（案）

平成 28 年 3 月

木津川出張所管内河川レンジャー 田中 実知世（5 期生：特例再任 1 年目）
山田 信人（5 期生：特例再任 1 年目）

目 次

○田中河川レンジャー 平成 28 年度年間活動計画	1
○山田河川レンジャー 平成 28 年度年間活動計画	21
○木津川管内河川レンジャー連携 平成 28 年度年間活動計画	41

平成 28 年度 河川レンジャ一年間活動計画

木津川出張所管内河川レンジャー 田中 実知世

1. 活動の目的

- ①木津川は日本でも有数の砂河川であるが、上流域のダム、治山事業や下流の河川改修、砂採取の影響で砂の量が減っている。かつては木津川でも川砂取りが行われていた。
- ②そのため現在では木津川は深刻な「河床低下」状態になっている。滝筋の固定化、深掘れ、高水敷の樹林化、ワンドやタマリの減少など、かつての木津川らしさが失われつつある。
- ③木津川では生物が昔より少なくなってしまっており、河床低下もその一因ではないかと思われる。
- ④河床低下により、河川構造物や堤防への影響も懸念される。
- ⑤木津川は地域住民にとってアプローチが容易ではなく案外存在の遠い川であるため、昔と今との河川環境の変化が認識されにくい。
以上の課題認識から、
木津川の豊かな河川環境を守るためにには木津川の河床低下問題の解消が必須と考え、砂河川再生のために地域住民が木津川に親しむ機会を作り、問題意識を高め、砂河川再生への提案をおこなうことを活動目的とする

2. 活動の目標

Step1 木津川の河川環境の豊かさと、河床低下問題を知らせる

Step2 砂河川再生の必要性を広め、地域住民の望む木津川の在り方を明らかにする

Step3 木津川沿川住民と一緒に、砂河川再生のため土砂管理の在り方を行政に発信する

「木津川は、水といっしょに、砂も流れる川」

3. 活動の概要

	活動内容	実施時期（任命期間／年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	<p>①川の自然観察会をとおして木津川の河川環境の豊かさを体感し砂河川だからこそ生息できる生物がいることを知らせる。</p> <p>②川の構造物を通して木津川の特長と課題を知らせる。樋門工事と砂堤防断面見学、河床低下の現場や治水施設を見学し、人間が川と共生できる将来像を考える。</p> <p>③木津川管内河川レンジャー共同の木津川沿川活動団体交流会や木津川展を実施し、木津川の良さや問題点を拡げる。</p>					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	<p>①木津川川ガキ団水辺活動で参加親子と共に木津川の地形調査と生き物調査、地域住民・漁業者から昔の木津川の様子や変化、河床低下の実感を取材し木津川の特長と課題を考え、住民の望む木津川像を明らかにする。成果を近畿「子どもの水辺」交流会で発表し、地域住民にもフィードバックする。</p> <p>②木津川上流下流で川を大切にする気持ちと問題意識を共有するため、相互交流・意見交換の場を設ける。木津川上流河川レンジャーと共同活動。「木津川は一本！」</p> <p>③防災、木津川一斉清掃、木津川沿川活動団体交流会や木津川展への行政支援・行政参加。</p>					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	<p>①木津川一斉清掃、木津川展や木津川沿川活動団体交流会から発展させ、行政も関わる木津川再生協議会(仮称)といったものに移行し、木津川に関する具体的な意見を集約し、提案をまとめる。</p> <p>②砂河川再生のために木津川水辺調査を継続し、モニタリング結果を積み上げ、河川環境変化や河床低下、土砂管理に関する意見交換会を実施する。</p> <p>③淀川河川事務所・淀川流域総合土砂管理ワーキンググループ・関係行政に対して、沿川住民の意見を河川行政に発信する。</p>					

4. 平成 28 年度活動内容

平成 28 年度の活動一覧

活動分野	活動名
(1) 防災・救援・救難の推進を図る活動	地域で考えよう！防災（笠置町）（共同）
	親子水辺の安全講習会 出前講座 小学校連携・ライフジャケット着用体験指導
(2) 河川の環境保全を図る活動	川の自然観察会 「野鳥観察会」「木津川バッタのオリンピック」
	木津川一斉清掃（共同）
	淀川流域クリーン大作戦（仮称）（共同）
(6) 河川に関わる歴史・文化的普及・啓発活動	木津川川ガキ団水辺活動～生き物調査、地形調査、地域住民への河床低下ヒアリング、安全指導、発表制作～
	川の構造物見学会
	木津川展（共同）
	木津川マラソン河川レンジャー展（共同）
(7) 河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動	近畿「子どもの水辺」交流会への発表参加
	上流域との交流
	木津川沿川活動団体交流会（共同）
	親子花見乗船体験 木津川展（共同）

■活動を実施していく上での課題

- ・河川レンジャーとして木津川がかかえる課題をヒアリングし、砂河川再生への気運を高めるためには、どのように地域住民・行政との関わりを構築し、発信していくか。
- ・河川レンジャーが川・行政・地域をつなぐコーディネーターとしてさらに認知してもらえるようになるにはどうすればよいか。
- ・木津川沿川各自治体での防災活動に河川レンジャーとしての役割をもって積極的に参画したい。
- ・地域防災や実際に川に入る活動で、施設・物品の協力をお願いしたい。

■課題に対する改善点

- ・木津川川ガキ団水辺活動で川への関心のある参加者親子を公募し、木津川の諸問題と一緒に考えるブレーン作りを広げる。
- ・活動の中で、参加者が合意できる内容が見つかれば、無理のない形でまとめ、それを行政に届けていく工夫をする。
- ・展示企画の際、河川レンジャー全体に関する広報活動を行う。また、淀川管内河川レンジャー全体として取り組み、行政も連携・参加する大きな企画を具体化する。
- ・木津川沿川各自治体の防災担当者に河川レンジャーとして可能な取組みを紹介する。

平成28年度 年間スケジュール

田中実知世

		実 施 (赤字は協働活動)	備 考
平成28年	4月	3日(日) 花見乗船体験木津川展 23日(土) 川の自然観察会(春の野鳥)	(共同)
	5月	上旬 木津川川ガキ団水辺活動 28日(土) 木津川一斉清掃	(共同)
	6月	上旬 木津川川ガキ団水辺活動	
	7月	日程未定 木津川川ガキ団水辺活動 9日(土) レンジャー養成講座② 中旬平日 親子水辺の安全講習会 出前講座 小学校連携ライフジャケット着用体験指導 23日(土) 上流域交流	(運営グループ共同)
	8月	2日(火)~4日(木) 木津川市夏祭りロビー展 日程未定 木津川川ガキ団水辺活動	(共同)
	9月	上旬 木津川川ガキ団水辺活動 22日(木祝)or24日(土) 川の自然観察会(バッタのオリンピック)	
	10月	日程未定 木津川川ガキ団水辺活動	
	11月	日程未定 地域で考えよう!防災(笠置町) 12日(土) 川の構造物見学会(八幡排水機場)	(共同)
	12月	10・11日(土日) 京都環境フェスティバル	(運営グループ共同)
	1月	21日(土) 近畿子どもの水辺交流会兵庫大会発表 29日(日) 木津川沿川活動団体交流会	(共同)
	2月	5日(日) 木津川マラソン河川レンジャー展 12日(日) 淀川流域クリーン大作戦(仮称)	(共同)
	3月	4日(土)~6日(月)、10日(金)~12日(日) 第8回木津川展 4日(土) 川の自然観察会(冬の野鳥)	(共同)
平成29年	1月		
	2月		
	3月		

4. 1 親子水辺の安全講習会 出前講座

(1) 活動目的

木津川は日本でも有数の砂河川であり、豊かな砂洲、ワンド、タマリが形成されている。

そのため淀川流域の中でも、河原へ川の中へと人がアプローチできる箇所が多く自然のままの親水空間を形成している。それ自体は川で遊べる好ましい環境ではあるが、他方で常に水難事故の危険をはらんでいる川であるともいえる。

木津川での魚とりなどの活動で、親御さんからは「川は危険な場所だから、自分たちだけ行くのはこわい」という意見をよく聞く。今、子育て期のお父さんお母さん世代は、自身が子供の時分学校教育で「川は危険。近づくな」と教えられて育った世代である。木津川管内河川レンジャーの活動などに参加して、川の楽しさや川環境の自然の豊かさに気付いてくださった方の中から、もっと自分でも木津川に入って遊びたいと思う方々が増えている。

川で、水難事故に遭わないためにには、川から離れるのではなく、川の危険箇所や身の守り方について、自ら学ぶ必要がある。「親子水辺の安全講習会」を実施し、川での危機管理意識を高め、自信と責任を持って川に入る人を増やしたい。

平成24、25、26、27年度は、奈良市立左京小学校と連携して、体育のプール授業における「着衣泳実習」と一緒に出前授業「ライフジャケット着用体験と川の安全教室」を実施した。

まず「川の安全教室」でパネルを使用して、河川レンジャーの紹介、川の危険箇所の説明、ライフジャケットの必要性、スローバックなどの陸上から行う救助方法などを講義し、次に「ライフジャケット着用体験」で実際に着用してプールで浮く体験をしている。先生方や子どもたちからは「ライフジャケットの着方や浮き方を知っていると、いざという時に救命につながる。貴重な体験で感謝している」「次年度もぜひ連携したい」という意見を毎年いただいている。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 27 年	4月	出前授業の打合せ、ライフジャケット手配
	5月	〃
	6月	〃
	7月	会場設定、ライフジャケット手配、資料作成 活動実施、アンケート集計、結果報告
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	平成 28 年	1月 2月 3月

(2) 連携等

○団体との共催

○団体名（ 奈良市立左京小学校 他 ）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：沿川の小学校児童と学校連携事業としておこなう
団体名（ 奈良市立左京小学校 ）
- 定員：5年生児童全員（約70名）

(4) 実施内容

- 川の安全指導と危険箇所の説明
- ライフジャケットの正しい着用方法
- ライフジャケットで浮いてみよう！スローバックの紹介

(5) 実施日 7月随時

(6) 実施場所 奈良市立左京小学校など沿川の小学校、プール施設

(7) 安全対策

- ・ライフジャケットの正しい着用を徹底し、プールに入水する時は学校職員、レンジャーで安全確認をおこなう。
- ・気温が高い場合は、熱中症対策として水分補給や適宜休憩を入れること。
- ・熱中症患者が出た時は、早急に冷房のきいた保健室などに搬送し体を冷却し容態を確認。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

小学校の先生がた数名

(9) 広報・募集方法

指定の小学校にて実施 一般募集なし

(10) 必要支援内容

国土交通省

- ライフジャケット、スローバックの貸出
- 各種資料提供
- 資料、アンケートの印刷

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 出前授業の打診
- 実施計画の立案
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ

(12) その他

奈良市立左京小学校では今年度も引き続き、ライフジャケット着用体験授業を着衣泳のプール授業と併せておこなう。河川レンジャーが学校と連携できる好例と思われる所以、同様の出前授業を沿川自治体に広げていきたい。

4. 2 川の自然観察会（〇〇の野鳥観察会・バッタのオリンピック）

（1）活動目的

木津川の河川敷は、高水敷の樹林帯からアシなどの草地、砂地や礫の河原、豊富なタマリやワンド、滔々と水の流れる川面など、野鳥の観察に適した様々な自然条件を揃えている。

四季を通じて自然観察会を実施することにより、木津川の豊かな自然環境を実感し、次世代へ継承することの重要性を学び伝えていきたい。野鳥観察会では、開橋の木津川流域センター周辺河川敷で木津川に集まる野鳥を定点観察し、木津川の環境変化を記録することを目標とする。また昆虫観察会では木津川に生息する京都府絶滅寸前種カワラバッタをとりあげ木津川の砂礫河原には貴重な生育環境が存在することを学習する。

参加者には、自然に興味を持つ大人や親子を想定しており、川の自然観察会を通じて木津川全体の生態系を大切にしていきたいという想いが世代を超えて広がっていくことを期待しています。

活動実施スケジュール

実 施	
平成 28 年	4月 講師打合せ、4月チラシ作成・配布、モニタリング、資料作成、通路草刈、スタッフ打合せ、現地下見、23日（土）春の野鳥観察会実施、結果まとめ
	5月
	6月 講師打合せ、モニタリング
	7月 9月チラシ作成・配布、カワラバッタ生息地モニタリング
	8月 講師打合せ、カワラバッタ生息地モニタリング
	9月 カワラバッタ生息地モニタリング、資料作成、通路草刈、スタッフ打合せ、現地下見、22日（木祝）or24（土）バッタのオリンピック実施、結果まとめ
	10月
	11月
	12月
平成 29 年	1月 講師打合せ 3月チラシ作成・配布、モニタリング、
	2月 資料作成、通路草刈、スタッフ打合せ、現地下見
	3月 4日（土）冬の野鳥観察会実施、結果まとめ

（2）連携等

- 団体との共催・他団体の活動（行事）への出展等
- 団体名（自然体験活動推進協議会、NPO こどもとむしの会、NPO やましろ里山の会、木津川上流河川レンジャー、依那古体験隊スタッフ）

（3）参加対象者・定員

- 参加対象：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
- 定員：30人/回（参加者への講演等の理解の徹底と使用する会場の定員より設定）

(4) 実施内容

- ・活動目的説明（河川レンジャー）
- ・野鳥観察方法を教える・・・スコープ、双眼鏡の使い方、観察の心得等（講師：植田氏）
- ・昆虫観察方法を教える・・・捕虫網の使い方、観察の心得等（講師：金子氏）
(当該観察目的以外にも、観察中に出会った他の生き物についても観察できる体制を整える。)
- ・実際に野鳥・昆虫を見て種類や特徴の説明
- ・雨天の場合、室内で野鳥・昆虫の展示説明、座学

(5) 実施日

実施日：野鳥→平成28年4月23日(土)、平成28年3月4日(土)
(3月4日は木津川レンジャー協働活動「木津川展」野外活動として広報する)
バッタ→平成28年9月22日(木祝) or 24日(土)で調整中
少雨決行、雨天メニューあり。大雨や危険が予測される場合は順延を検討

(6) 実施場所

- ・野鳥 木津川市山城町北河原 木津川流域センター付近河川敷
(但し4月活動は現地が工事中のため、山城町堤内側を観察し、開橋歩道上から工事の様子を見学する)



- ・昆虫 城陽市水主 木津川河川敷



(7) 安全対策

- ・下見で、危険箇所の点検や活動する場所の特定。危険箇所には、安全要員を置く。
- ・気温が高い場合は、熱中症対策として水分補給や適宜休憩を入れること。
- ・熱中症患者が出た時は、早急に冷房のきいた木津川流域センターもしくは車両内に搬送し体を冷却し、容態を確認し、それ以上の看護が必要な場合は消防に救急要請する。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：やましろ里山の会：2～4名（運営補助、参加者への安全対策）

講師：植田光弘氏（自然体験活動推進協議会インストラクター）

金子留美子氏（NPO こどもとむしの会、NPO シニア自然大学校研究部昆虫科）

(9) 広報・募集方法

・淀川管内河川レンジャーホームページへの募集案内の掲載

・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載

・公共施設へのチラシ配布

(10) 必要支援内容

国土交通省：チラシ印刷

資料・アンケート用紙の印刷

河川レンジャー旗の借用

観察ケース借用

会場草刈り等の整備

講師謝金の支払い

講師の送迎

やましろ里山の会：野鳥観察用スコープの借用

協力スタッフ

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

・実施計画の立案

・講師・協力スタッフの手配、打合せ

・会場の手配

・資料作成

・広報活動

・当日の運営

・アンケート結果のまとめ

(12) その他

・野鳥観察会に関しては、木津川流域センター付近の開橋上流右岸をフィールドとし、木津川河川敷の環境変化、流況変化によって、出現鳥の変化があるのかどうか、5年連続の定点観察をおこない、観察データの積み上げをおこなう。

・野鳥観察会で定点観察のフィールドとしている木津川流域センター周辺河川敷は、度重なる出水で本川の流路変化、低水敷の地形変化が激化している。観察コース通路も崖が洗掘されコース変更となっている。危険箇所は毎回下見で確認し対策を講じる必要がある。

・4月活動は現地が工事中のため、山城町堤内側を観察し、開橋歩道上から工事の様子を見学する。

・昆虫観察は「バッタのオリンピック」をテーマに9月に昆虫観察会を開催する。

「バッタのオリンピック」という活動は大人も子供も河原で夢中でバッタをつかまえて飛距離を競う（そのまま自然に放す）もので、楽しみながら昆虫を学べる優れたプログラムである。

・木津川に生息するカワラバッタは京都府絶滅寸前種に指定されており、木津川の砂礫河原の生態系や河床低下による環境変化を説明するためには最適な昆虫であるが、限られた環境でしか生息できない貴重な昆虫であり、広報・周知に細心の注意をはらう必要がある。

・会場としている城陽市木津川河川敷は、砂礫川原にむかってゴルフの打ちっぱなしのような行為をする方々がいて、観察中に危険を感じることがあった。通行時は参加者、ゴルフ爱好者両方に声をかけ安全に留意する。またゴルフ爱好者への事前に活動周知を行う。

4. 3 木津川川ガキ団水辺活動

～生き物調査、地形調査、地域住民への河床低下ヒアリング、安全指導、発表制作～

(1) 活動目的

木津川は、自然が豊富で多様な水生生物の棲みかとなっている。また日本でも有数の砂河川であるために出水の度に川の地形が変化しやすい。淀川水系では本流とその周辺で川遊びができる貴重な河川環境である。木津川川ガキ団では、5月から10月ごろまでの川の活動オンシーズンの間、広く参加者を募集し、木津川本流とその周辺で水辺活動をおこなう。また11月から1月の近畿「子どもの水辺」交流会までは、その発表制作をおこなう。

これまで山城大橋ワンドを中心に定点で「生き物調査」「地形調査」をおこない、ワンドの生き物の季節的变化を記録し時期によって稚魚の発生に順番があることや、出水後の調査でワンドが出水時の生き物の避難場所になっていることを確認できた。また経年変化としてはこの活動以前からの経験と合せワンドの地形が過去10年程度でどのように変化してきたのか参加者と一緒に考えることができた。

この5年ほどは山城大橋ワンドが少しずつ変化していく過程を記録し、ついに平成25年9月の台風18号による出水でワンドと木津川本流をへだてる壁がなくなり、ワンドの消滅を参加者と目撃し、また26~27年度はその崩壊したワンドに徐々に砂がたまり細い流れをもつ砂洲へと変化する様を記録できた。参加者の興味から木津川の砂環境に関して「木津川の河床低下」の歴史と現状、また地域住民がどのような思いを持っているのか活動を通じてヒアリングし研究することを加える。同時に昔の川の漁への興味から、27年度は木津川漁協の協力で昔の漁具見学と制作をおこなった。28年度も地元の魚とり名人に漁を習い子どもたちと「人と川の関わり」について学ぶ予定である。

「生き物」「地形」「砂」など様々な変化と結果をリアルタイムに学習することのできる木津川。しかし水難の危険もともなう。「安全指導」としてライフジャケットの着用指導と安全要員の配置を徹底し、いざという時の態勢をシミュレーションしながら活動をおこなう。

今年度はメンバーの小学校卒業がここ数年重なり参加人数の減少が予想されるため、4月に公募をおこない、新しい参加者の開拓につとめる。

活動実施スケジュール

		実施	
平成27年	4月	メンバー公募広報（3月より準備） スタッフ打合せ会議	5月 木津川川ガキ団水辺活動（生き物調査・地形調査・地元住民への河床低下ヒアリング・安全指導）
	5月	上旬 木津川川ガキ団水辺活動（参加者への説明会）	
	6月	上旬 木津川川ガキ団水辺活動	
	7月	日程未定 木津川川ガキ団水辺活動	
	8月	日程未定 木津川川ガキ団水辺活動	
	9月	上旬 木津川川ガキ団水辺活動	
	10月	日程未定 木津川川ガキ団水辺活動	
	11月	発表制作	11月 近畿「子どもの水辺」（ボーラード、発表制作、原稿および発表練習）
	12月	発表制作	
	1月	(1月21日(土)近畿「子どもの水辺」兵庫大会発表)	
平成28年	2月		
	3月		

(2) 連携等

- 団体との共催
- 団体名（N P O やましろ里山の会）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者絶対同伴）
- 定員：30人/回（参加者への安全の徹底により設定）

(4) 実施内容

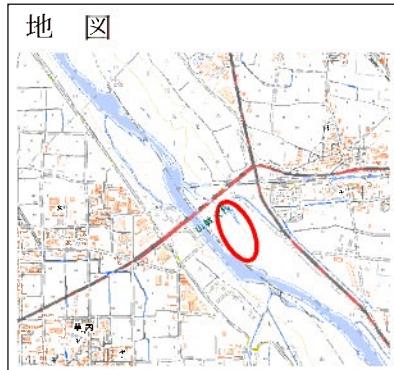
- 木津川にて一定の活動フィールドを設定し、生き物調査・地形調査・安全指導をおこなう。年間を通じて季節変化や、大雨などの出水の前後の変化を記録してデータを積み上げる。

(5) 実施日 平成28年度5月～10月随時（6回予定）

季節変化や水量変化などがあつてレンジャーが必要と判断した日
なおかつ安全に活動できると判断した日
またスタッフの研さんのため、臨時での活動も適宜行う

(6) 実施場所

京都府城陽市
木津川右岸
山城大橋ワンド
および
八幡市流れ橋
下流タマリ



(7) 安全対策

- ・下見で、危険箇所の点検や活動する場所の特定。危険箇所には、安全要員を置く。
- ・特に水難事故には注意し、ライフジャケット着用を徹底し、特に子どもが安全に活動できると判断した範囲から出ないよう情報伝達と見はりスタッフを徹底する。
- ・気温が高い場合は、熱中症対策として水分補給や適宜休憩を入れること。
- ・熱中症患者が出た時は、早急に冷房のきいた木津川流域センターもしくは車両内に搬送し体を冷却し、容態を確認し、それ以上の看護が必要な場合は消防に救急要請する。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ やましろ里山の会

(9) 広報・募集方法

- ・これまでの河川レンジャー活動に参加したり問合せしたりした親子の中で、開催案内を希望された方に対してメールで募集、という従来どおりの募集に加えて
- ・木津川流域の公共施設・図書館へのチラシ配布
- ・レンジャーN e w sへの募集告知
- ・各自治体広報でも同様に募集広報を掲載していただきたい。

(10) 必要支援内容

国土交通省

- ライフジャケット、スローロープの貸与
- 木津川堤防のカギの貸与
- 木津川流域センター施設使用
- 木津川の河床低下や昔からの砂の量の変化、流況変化を知る方を紹介
- 河川敷通路の草刈り
- 募集告知広報の協力

各自治体

- 募集告知広報の協力

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・調査地のモニタリング
- ・実施計画の立案
- ・参加者、協力スタッフ依頼と手配・打合せ
- ・参加者募集
- ・収集データの取りまとめ
- ・参加者情報共有のため活動ごとに「水辺ニュース」の配信
- ・活動報告のまとめ
- ・近畿「子どもの水辺」交流会発表のコーディネート

(12) その他

- ・近畿「子どもの水辺」交流会への参加も、早いもので8年目になる。その間に参加する子どもたちも成長し、中学生になると部活や受験でこのような活動は引退になる。当初から参加していた子どもたちの年齢も上がってきたので、また低学年から中学年の子どもたちを中心に常に新規参加者を募集する必要がある。
- ・木津川ガキ団水辺活動では、参加者の中から近畿「子どもの水辺」交流会に発表参加したい子どもと保護者を募集している。活動成果を広く周知するため前年度の「子どもの水辺」発表をおこなえる場を希望する。淀川河川事務所、沿川自治体の子ども向け「環境系のおまつり」「子どもステージ発表」などの機会があれば是非出演させていただきたい。前年度の活動発表をおこなうことは、子どもたちにとっても聴衆の反応を見るチャンスであり、発表内容を再度自分にフィードバックして深めることになるので積極的に参加したい。ご協力をお願いします。

4. 4 川の構造物見学会

(1) 活動目的

川には多くの構造物がある。樋門や排水機場、上流のダムなど、普段見慣れているものであるが、その構造物が作られたいきさつ、目的、役割を知ることにより、災害に対する意識を高め、水の恵みを享受できる仕組みを学ぶことができる。また、その構造物を日々使命感を持って保守管理している職員がいることを知り、川にかかわる仕事への理解を深める。

環境の侧面からはダムなどのコンクリート製大型構造物の是非が、現在論じられている。また木津川の堤防が砂堤防で弱く、治水の観点から改修の必要がある。流れ橋は、近年毎年流出する傾向にあり、木津川の流況変化を知るにはいい題材である。ゲリラ豪雨などの急な出水は近年木津川沿川でも内水被害を引き起こしている。

河川法の三本の柱である治水、利水、環境が両立するにはこれからどんな方向へ河川行政が向かうべきか、参加者が説明を聞き、実物を見ることにより、その利点や問題点に気付いてほしい。

砂の川木津川で、将来的にどのような川づくりが望ましいのか、未来への展望をそれぞれ想起していただければ有り難く思う。

今年度は、昔より内水被害がありその対策として建設されている「八幡排水機場」にて、施設見学、治水の歴史学習を予定している。

また今後木津川出張所管内で見学すべき工事が発生すれば、随時見学会を企画する。

活動実施スケジュール

実 施	
平成 28 年	4月
	5月
	6月
	7月
	8月
	9月 実施計画の立案、会場の確認、案内チラシの作成、参加呼びかけの手配
	10月 雨天対策の検討、資料作成、安全対策の打合せ、講師・スタッフの打合せ、
	11月 12日(土) 活動実施、結果とまとめの作成
平成 29 年	12月
	1月
	2月
	3月

(2) 連携等

○団体との共催

○団体名 (八幡市、NPOやましろ里山の会、NPOたいこ橋さざなみフェスト実行委員会)

(3) 参加対象者

木津川の流域住民(小学生以下は保護者同伴)および広域からの集客
定員 30人

(4) 実施内容

八幡排水機場施設見学を企画中

企画主旨説明 河川レンジャー

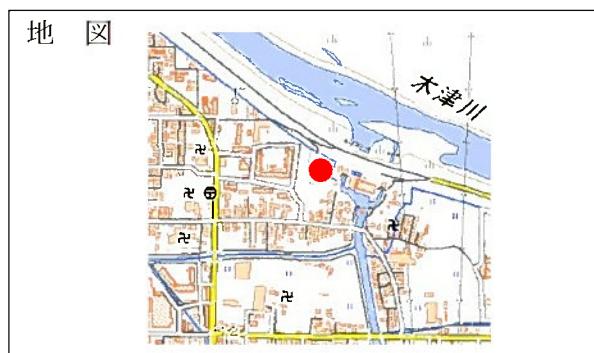
講師 施設管理担当職員・地元の治水の歴史を知る地元有識者

(5) 実施日 11月12日(土) 10時~12時予定

*関係各所調整で時期が変更になる可能性有

(6) 実施場所

八幡排水機場



(7) 安全対策

- 下見で、危険箇所の点検や活動する場所の特定。危険箇所には、安全要員を置く。
- 気温が高い場合は、熱中症対策として水分補給や適宜休憩を入れること。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 協力スタッフ やましろ里山の会 参加者誘導、受付

(9) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 対象区域内の公共機関、図書館などでの募集案内チラシ配布

(10) 必要支援内容

国土交通省

- 関係各署の紹介、講師の紹介
- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 講師謝金支払い
- 資料、アンケートの印刷
- 説明資料提供
- 参加者の安全確保

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ

(12) その他

今年度は現状では1回計画していますが、今後、川の構造物見学会としてふさわしい企画ができれば随時実施したいので、情報提供をお願いします。

4. 5 近畿「子どもの水辺」交流会奈良大会への発表参加

(1) 活動目的

近畿「子どもの水辺」交流会は、「身近な水辺活動を広く発信し、『水辺』への関心、上下流、・府県間など『水辺』に関わる子供たちの交流を深め、水辺活動の継続・広がり、地域ぐるみで共につくり、守り、育てる水辺づくりを目指す」ことを目的に、毎年近畿の各府県で開催される子ども中心の交流会である。2015年度は奈良大会で水辺の活動団体約300名が参加した。

2009年度から毎年川遊びの好きな親子を組織して水辺活動とその発表をおこない、昨年度で7回目となった。

2014年度は、前年崩壊した山城大橋ワンドを春から観察し、徐々に砂がたまって、細い流れのある砂洲に成長していく過程を知った。その中から「砂は木津川にとってかけがえのないもの」と子ども参加者が認識した。

毎年春から秋まで、たくさんの木津川に興味を持つ子どもたちと保護者がワンドを中心とした定点継続調査に参加し、その中から一部「発表にも参加したい」という子どもたちが残り、秋からの発表制作で年間活動を、ポスター、プレゼンボード、原稿にまとめている。その作業段階で毎回子供たちは、自分たちの活動のふりかえりをすると共に、普段の魚とり・地形調査を継続することの意義を見つめなおす。そして、本番の発表では自信をもってたくさんの人の前で発表できるようになる。また他の団体の発表を聞いて、自分たちにない切り口や考え方で活動していることに大きな刺激を受けてきている。そして始めて会った他団体の子供たちとも「水辺」という共通言語ですぐに仲間になれる交流体験をし、大きく成長する。

今年度もこれまで調査した山城大橋ワンドの調査データ、木津川の砂のデータを積み上げて、参加者の意見を尊重しながら発表する。

活動実施スケジュール

		実 施
平成28年	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	発表準備
	10月	発表準備
	11月	発表準備
	12月	発表準備
平成29年	1月	1月21日（土）近畿「子どもの水辺」交流会兵庫大会で発表
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 他団体の活動（行事）への発表出展
- 団体名（近畿「子どもの水辺」実行委員会）

(3) 参加対象者

田中レンジャー主催の木津川川ガキ団水辺活動の参加者
定員なし

(4) 実施内容

第10回近畿「子どもの水辺」交流会 兵庫大会での発表

(5) 実施日 平成29年1月21日（土）

(6) 実施場所

兵庫県内 会場未定

(7) 安全対策

- ・冬季の実施になるので、インフルエンザ、ノロ、風邪などへの感染対策が必要である

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

指導者 河川レンジャー（田中）
協力スタッフ 参加する子どもたちの保護者
やましろ里山の会木津川部会

(9) 広報・募集方法

- 主催事業・木津川川ガキ団水辺活動の参加者

(10) 必要支援内容

国土交通省

- 発表にかかる材料物品準備
- 資料

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 発表準備
- 「子どもの水辺」実行委員会、京都府河川課との諸連絡、調整

(12) その他

参加者は昨年度の発表メンバーも残る予定ではあるが、新規メンバーも募集してすそ野を広げる必要がある。この発表を広く聞いてもらう機会を作り、参加者募集の告知をしていきたい。そのため、自治体の夏祭りや子どもイベントで発表の場があれば参加させていただきたい。レンジャーNewsや河川レンジャーホームページなどの募集広報の協力をお願いしたい。各自治体広報でも同様に募集広報を掲載していただきたい。

4. 6 上流域との交流（木津川上流河川レンジャーとの共催）

（1）活動目的

木津川は、三重県青山高原から流れ出て、京都府八幡市で宇治川・桂川と合流し、淀川となって大阪湾へそぐ全長89kmの川である。私たちの活動地域である木津川流域は笠置大橋から三川合流地帯までであるが、そこからの上流部の源流地点から笠置までも、変化に富んだ自然と多くの人々の暮らしの中を通り、川の流れは続いている。

上流の伊賀市上野は木津川と服部川・柘植川の三川が合流し、直下に狭窄部・岩倉峠があることから、昔から深刻な洪水被害を受けてきた。現在は合流部に最大容量900万m³の遊水地ができ、100年に一度の洪水に耐えられる治水対策がなされている。しかし広大な遊水地は、広大な農地が洪水の際には犠牲になる事できており、これは伊賀市街地だけでなく下流都市部の洪水被害をも防いでいる。このことを下流の我々はもっと学んでおくべきである。木津川上流河川レンジャーと「木津川は一本」を合言葉に23年度は「遊水地見学と交流学習会」24年度は「源流探検とシャワークライミング体験」25、26年度は「川下りで木津川上流を体感！」27年度は「木津川源流川上り」を開催した。

そして、今年度も木津川上流で豊かな自然を体感し、自分たちの地域を流れる大きな木津川との差を理解し、上流の方々と相互交流・相互理解することを目的とする。

この活動は上記の企画主旨に基づき、木津川上流管内河川レンジャーとの共催の企画実施とする。また私のレンジャー活動にも木津川上流からの参加者を受け入れ、相互交流をおこなう。

活動実施スケジュール

		実 施
平成28年	4月	河川レンジャーレベルの交流
	5月	河川レンジャーレベルの交流
	6月	実施計画の立案、交通手段の検討、会場下見、参加呼びかけの手配、雨天対策の検討、資料作成、スタッフの打合せ
	7月	23日（土）上流域交流 木津川上流を体感！実施と結果まとめ
	8月	河川レンジャーレベルの交流
	9月	（バッタのオリンピックへの参加希望があれば、上流参加者の受入）
	10月	河川レンジャーレベルの交流
	11月	河川レンジャーレベルの交流
	12月	河川レンジャーレベルの交流
	平成29年	1月 河川レンジャーレベルの交流 2月 「木津川展」への木津川上流レンジャーの展示参加 3月 河川レンジャーレベルの交流

（2）連携等

○団体との共催

○団体名（木津川上流河川レンジャー、依那古体験隊）

(3) 参加対象者

運営会議対象区域内の流域住民(小学生以下は保護者同伴)

定員 下流より参加者は 30 人

(4) 実施内容

「上流域交流 木津川源流川上り」

木津川上流管内河川レンジャー 西祐治氏と共同開催

「バッタのオリンピック」については上流からの参加希望者がいた場合は受入。

「木津川展」にて木津川上流河川レンジャーの展示参加

(5) 実施日 平成 28 年 7 月 23 日 (土)

(6) 実施場所

三重県伊賀市服部川支流上流の馬野川・馬野渓谷

(7) 安全対策

- ・下見で、危険箇所の点検や活動する場所の特定。危険箇所には、安全要員を置く。
- ・現地の木津川上流河川レンジャーと数日前から水位、水量、水温の情報を共有し、危険と判断した際は別日に延期する。
- ・特に水難事故には注意し、ライフジャケット着用を徹底し、特に子どもが安全に活動できると判断した範囲から出ないよう情報伝達と見はりスタッフを徹底する。
- ・川下りでは最前列と最後尾にスタッフを配置し、前にも後ろにも参加者が逸脱しないよう安全管理を徹底する。
- ・夏の活動となるので、熱中症対策として水分補給や適宜休憩を入れること。
- ・上流で水温が低いため低体温症にも注意する。
- ・依那古消防団も活動にスタッフ参加している。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

木津川上流河川事務所職員

木津川上流河川レンジャー事務局

木津川上流管内河川レンジャー

依那古体験隊スタッフ

木津川管内河川レンジャー 田中実知世

木津川下流より参加の保護者は生き物解説および安全確保スタッフとする

(9) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 田中のレンジャー活動内で参加募集広報

(10) 必要支援内容

国土交通省木津川出張所

- 募集案内チラシ印刷
- 案内チラシの郵送 名簿に基づく諸団体への送付
- 資料、アンケートの印刷

国土交通省木津川上流河川事務所と木津川上流管内河川レンジャー

- 活動場所決定
- 安全情報の共有
- 「木津川展」では上流よりの参加についての物品手配

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 (共催)
- 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成、広報活動
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ

(12) その他

これまでの上流域交流では、5年前の「上野遊水地学習と上流域との交流学習会」で下流からの参加者から「下流は上流の方にしてもらう事の多い立場。勉強になった」という声が出た。これは私が本当に知つてほしかった内容です。また4年前の「源流探検」では木津川の最上流部を知り、木津川を大切に思う気持ちは上流も下流も同じである事を再認識し、3年前と2年前の「川下り」、昨年の「源流川上り」では木津川の豊かな里川で遊ぶことができた。

この活動を通じて、下流の我々は上流の状況を知ることができ、それにもまして、上流の方々との交流を通じて「木津川は一本」であること、上流下流でお互いを思いやることの大切さを知る事が出来た。木津川を通じての交流が広がることを願います。

平成 28 年度 河川レンジャ一年間活動計画

木津川出張所管内河川レンジャー 山田 信人

1. 活動の目的

課題・問題点・背景

その昔泉川と呼ばれた木津川は、約 40 年前と比べほぼ汚れ(COD 値で見る)が倍増しています。そして、この 10 年位は汚染値が横ばいを示しています。又多くの木津川支流が汚染増加によって流域の住民から疎遠なものとなってきています。加えて支流の多くが治水優先の対策により、コンクリート 3 面張りとなるなど生物の生息環境が悪化し、ますます子どもたちや地域の方々が川や流域の自然にふれあえなくなっています。

活動目的

木津川とその支流の水質汚染の実態把握と改善。又水質問題を中心としながら、豊かな自然の再生による環境保全活動の前進を通して、子どもたちが遊び住民が憩える川づくり。

2. 活動の目標

- Step1 住民と共に水ウォッチングを実施し、蓄積された水質データと分析の発信、また流域の住民団体との連携の実現。
- Step2 水ウォッチングを地域の住民団体・行政と連携して実施し、水質改善の取組を実現する。
- Step3
 - ・木津川に関わる団体・行政を繋ぎ、木津川再生協議会(仮称)を設立し、具体的な木津川に対する提案書を作成する。
 - ・支流でも、同様な取組を追求し、提案書を作成する。

3. 活動の概要

	活動内容	実施時期（任命期間／年次）				
		試行	1期	2期		
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	<p>①木津川本川5地点とその支流17地点を一斉に水質調査する木津川一斉水ウォッチングを住民団体や有志の協力で実施。</p> <p>②支流の水ウォッチングを流域の住民団体と一緒に取り組む。</p> <p>③環境学習や総合学習などの支援を通して、水環境について考え方行動する力を育成する。</p> <p>④木津川管内河川レンジャー共同の木津川沿川活動団体交流会や木津川展を実施し、木津川の良さや問題点を広げる。</p>					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	<p>①流域の住民団体と連携する水ウォッチング等への行政参加・行政支援の実現。</p> <p>②行政からの要請による講演・環境学習。</p> <p>③行政の協力を依頼した河川整備計画を現地で学び交流する企画。・その中で出される住民の方々の意見の集約と発信。</p> <p>④木津川沿川活動団体交流会や木津川展への行政支援・行政参加。</p>					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	<p>①木津川本川では、木津川一斉清掃・木津川展や木津川沿川活動団体交流会の質的発展により、行政も関わる木津川再生協議会(仮称)といったものに移行し、木津川に関する具体的な意見を集約し、提案をまとめる。</p> <p>②支流では、連携住民団体を中心に○○川の将来を考える協議会(仮称)をつくり、意見を集めし、川づくりの提案をまとめる。</p>					

4. 平成 28 年度活動内容

平成 28 年度の活動一覧

活動分野	活動名
河川の環境保全を図る活動	木津川とその支流のウォッキング数回 木津川とその支流の水質モニタリング 木津川一斉清掃（共同）、淀川流域クリーン大作戦（仮称）
防災・救援・救難の推進を図る活動	地域で考えよう防災（共同）
活動地域への河川環境啓発活動	小・中学生の環境学習や総合学習等の出前授業（宇治市立広野中学校科学クラブの水質調査指導を含む） 宇治市環境展、宇治環境フェスタ 近畿子どもの水辺交流会での発表 木津川展（共同）、木津川市夏祭りロビー展（共同） 木津川マラソン河川レンジャー展（共同） 花見乗船体験・木津川展（共同）
行政と住民のコーディネイト	木津川沿川活動団体交流会（共同）
川づくりまちづくりへの参画活動	上柏川クリーン作戦（福井 RA と共同）

■活動を実施していく上で課題

- ・河川レンジャーとして、地域と行政からの信頼を如何にして得、またその信頼を元に如何に活動内容を発展させるのか。
- ・行政と連携した取組の中で、如何にして流域住民の声を行政に発信していくのかを考え、その仕組みを模索すること。
- ・河川レンジャーの知名度を上げ、活動を発展させること。

■課題に対する改善点

- ・活動をやりっぱなしにせず、まとめをきちんと地域や行政に返すことをていねいに繰り返す。
- ・活動の中で、参加者が合意できる内容が見つかれば、無理のない形でまとめ、それを行政に届けていく工夫をする。
- ・展示企画の際、意識的に河川レンジャーの説明パネルの活用を図る。
- ・淀川管内河川レンジャー全体が一緒になって、行政も連携・参加する大きな企画を具体化すること。

平成 28 年度 年間スケジュール 山田 信人

		実 施	備考
平成 28 年	4月	3日(日) 花見乗船体験・木津川展 29日(金) 名木川水ウォッチング(※) (兼:広野中学校科学部の水質調査出前授業)	共同
	5月	28日(土) 木津川一斉清掃 下旬 城陽市立古川小学校出前授業(未定)	共同
	6月	中旬 宇治市環境展	
	7月	9日(土) 河川レンジャー養成講座二日目 下旬 山田川水質モニタリング	運営グループ共同
	8月	2日(火)~4日(木) 木津川市夏祭りロビー展	共同
	9月	10日(土) 上狹川クリーン作戦(※) 24日(土) 古川水ウォッチング(※)	
	10月	8日(土) 第6回木津川一斉水ウォッチング(※) 中旬 広野中学校科学部の名木川水質調査出前授業	
	11月	日程未定 地域で考えよう防災 初旬 宇治環境フェスタ	共同
	12月	初旬 山田川水質モニタリング 京都環境フェスティバル2016	運営グループ共同
平成 29 年	1月	近畿「子どもの水辺」交流会発表(日程不明) 29日(日) 第9回木津川沿線活動団体交流会	共同
	2月	5日(日) 木津川マラソン河川レンジャー展 12日(日) 淀川流域クリーン大作戦(仮称) 雨天予備日 26日(日) 中~下旬 上狹川水質モニタリング	共同 共同
	3月	4日(土)~6日(月)、10日(金)~12日(日) 第8回木津川展	共同

水質調査や総合学習での出前授業は、依頼あれば隨時実施。又宇治市立広野中学校科学クラブの水質調査出前授業は、年2回の調査を予定。その後のまとめ指導は、年間を通して実施。

(※) 水質モニタリングも同時に実施。

4. 1 木津川とその支流の水ウォッキング

(1) 活動目的

木津川流域では多くの支流が生活排水などで汚れる中、地元地域で清流を再び取り戻し、自然の豊かな川に戻し、みんなが憩える場所にしたいと、地道に取り組んでいる団体や住民の方々がおられる。又、活動まで至らないが何とかしたいと考えている方々もおられる。

そこで水質調査活動や自然観察を住民の方々や子供たちとともに取り組み、汚染の実態・原因と共に考え、又残された自然を確認することで、自然の残る身近な河川づくりにかかわる活動を支援することを目的に開催することとした。水質調査の結果を地域に返すことを継続することで、地域の方々に「地元の川は自分たちで守る」という意識を育成することも大きいねらいの一つである。又、行政施策の効果は、中小河川ではっきり出てくることが多いので、この調査結果は行政の方々の努力を評価することにもなり、住民と行政の関係を身近にする契機にもなり得るものである。更に、支流での水ウォッキングでは、自治体の行政参加・協力を組織できるよう取り組みたい。

なお、長期的には各支流の調査結果に木津川本流の結果を加え、「木津川流域汚染マップ」を作成することを大きな目標としている。また6回目を迎える支流では、経年変化についての分析も加えていきたい。

活動実施スケジュール

実 施	
平成 28 年	4月 29日(金)第5回名木川水ウォッキング
	5月
	6月
	7月
	8月
	9月 24日(土)第6回古川水ウォッキング
	10月 8日(土)第6回木津川一斎水ウォッキング
	11月
	12月
平成 29 年	1月
	2月
	3月

水ウォッキングの活動では、水質モニタリングも同時に実施。

(2) 連携等

○団体との共催・協力等

○団体名 名木川水ウォッキング（宇治市立広野中学校 科学部）
古川水ウォッキング（古川を美しくする会・水辺で遊べる古川をつくる会）
木津川一斎水ウォッキング（やましろ里山の会）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：対象河川流域住民を中心に、広く運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
団体名（各水ウォッチングごとの共催・協力団体）
- 定員：30名

(4) 実施内容

- ・河川の自然（魚・野鳥・植物）と構造物（堰など）観察、歴史的建造物の見学
- ・水質調査用採水とパックテストによる水質調査
- ・水質調査の結果とまとめ（河川レンジャー）
- ・当日のプログラム（例）

9:30 集合
9:40 河川レンジャーの挨拶・趣旨説明・本日の予定と諸注意
9:50 お話し、あるいはプレゼンテーション
10:00 河川観察・採水・クリーンアップ
11:00 休憩
11:00 水質調査
11:40 水質調査の結果とまとめ
12:00 解散

(5) 実施日

- ・4月29日（金）第5回名木川水ウォッチング
(集合場所：宇治市立広野公民館)
- ・9月24日（土）第6回古川水ウォッチング
(集合場所：未定)
- ・10月8日（土）第6回木津川一斎水ウォッチング
(集合場所：木津川流域センター)

(6) 実施場所

- ・各河川の沿川（詳細は未定）

(7) 安全対策

下見の徹底。暑い時期の実施については、熱中症対策。交通安全への注意喚起。
危険箇所への対策や事前の注意。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：やましろ里山の会 2名、各河川流域住民 2名
講師（予定）

(9) 広報・募集方法

- ・河川レンジャーホームページに募集案内掲載
- ・対象流域公共施設での募集案内設置
- ・やましろ里山の会ホームページに募集案内掲載
- ・自身の河川レンジャーHPに掲載
- ・対象河川流域の各諸団体への案内
- ・一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
(広報や募集案内も、地域の方々や住民団体の希望により様々になる。)

(10) 必要支援内容

国土交通省淀川河川事務所

- ・募集案内チラシの印刷と郵送
- ・資料・アンケートの印刷
- ・水質調査用物品の購入と貸し出し(パックテストなど)
- ・標準色表の印刷物をラミネートしたものの作成と貸し出し(下敷きにも使えるもの。)
- ・クリーンアップに使う物品の借用
- ・河川レンジャー幟の借用
- ・講師謝金の支払い
- ・会場使用料の支払い(冷暖房費含む)
- ・必要に応じ、移動手段の手配

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・各河川流域の自治体の後援依頼
- ・会場の手配。
- ・募集案内チラシの作成含め広報活動
- ・講師の手配と打合せ
- ・協力スタッフの手配と打合せ
- ・水質調査用具・パックテスト等の準備
- ・水質調査用紙・アンケート用紙の作成
- ・当日の運営
- ・アンケートを含め、活動のまとめ
- ・水質調査の分析を中心としたまとめレポート作成と発信

(12) その他

魚採りや野鳥観察と違い、楽しきで人を集めることは困難な企画なので、できるだけ地域の様々な組織や団体と如何に連携を作り上げていけるかが最大の課題です。同時に、企画の工夫として野鳥や植物・魚等の自然を楽しむ内容や歴史的建造物見学を繰り込むことが重要である。

また、治水問題や町づくり等も組み込むことを検討していきたい。

その際、企画内容が伝わりやすいようにチラシを工夫することが必要。

地域の主体性が育成されるように、可能な地域では、地域の住民組織と共にという形を取れるように努力することが重要。又組織のない流域では、そうした住民の組織化につなげていきたい。

さらに共催の場合、請負にならないよう企画について丁寧な相談をしていくことが重要である。

水ウォッキングと同時に水質モニタリングを実施しており、その結果も含めて作成したレポートを流域の自治体に発信し、環境保全の推進に役立つようにしていきたい。又行政の方々へも企画案内を丁寧に行っていきたい。

4. 2 環境学習・総合学習等の出前授業

(1) 活動目的

小・中学校では、総合学習や環境学習が取り組まれている。しかし身近な河川や木津川を題材とした内容の体験的な学習は少ないのではないか。水質調査を含めた体験的な学習を提供することで、水の大切さや水環境保全への理解を深めていきたい。

平成24年度途中から、宇治市立広野中学校科学部への水質調査出前授業に取り組んできたが、今年度も要望に応じて出前授業に取り組みたい。

又高校の理科教育の中で、学校独自設定科目「地球環境」を数年にわたり取り組んできた経験を生かせたらと考えている。

出前授業の成果は、自治体が開催する環境フェスタ等での発表に繋げられるよう努力する。またこの活動で地域や行政の信頼を得ることは、地域や行政からの依頼にも繋がっていくと考えられる。

活動実施スケジュール

		実 施	
平成 28 年	4月	宇治市立広野中学校科学部出前授業…要請に応じ、随時実施。 (29日(予定)：名木川ウォッチングで水質調査指導)	
	5月	〃	〃
	6月	〃	〃
	7月	〃	〃
	8月	〃	〃
	9月	〃	〃
	10月	〃	〃 (中旬：名木川水質調査出前授業)
	11月	〃	〃
	12月	〃	〃
平成 29 年	1月	〃	〃
	2月	〃	〃
	3月	〃	〃

※水質調査や総合学習での出前授業は、依頼あれば随時実施。

※宇治市立広野中学校科学部の水質調査は、年2回の調査を予定。その前後の事前学習やまとめ等の指導は、年間を通して実施。又近畿「子どもの水辺」交流会での発表に繋げていきたい。

(2) 連携等

- 他団体の活動（行事）への出前授業
- 団体名（宇治市立広野中学校科学部・その他依頼された団体）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：地域住民・団体（地域団体・学校・行政・企業など）
団体名（宇治市立広野中学校科学部・その他依頼された団体）
- 定員：依頼により決定。

(4) 実施内容

例

- ・水のイロハと水質調査（小学生対象）
- ・身近な河川の水質等の調査（中学生以上）
- ・木津川とその支流の汚染について（中学生や大人）
- ・水の重要性と様々な水汚染について（中学生や大人）
- ・川から見える地球温暖化（大人）

(5) 実施日

依頼により決定

広野中学校科学部の水質調査は、春と秋に実施。（春は、名木川ウォッチングに重ねて実施する予定。）

(6) 実施場所

依頼により決定

(7) 安全対策

出前授業を外で行う場合、下見の徹底。危険箇所の把握と対策。

暑い時期の場合、熱中症対策。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

依頼内容による。

(9) 広報・募集方法

教育委員会や学校への資料配布等

(10) 必要支援内容

国土交通省淀川河川事務所

資料印刷・パックテスト等の提供、水質調査に伴う資材の貸し出し

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

授業計画の立案、資料づくり、打合せと下見、出前授業、まとめの作成

(12) その他

昨年度は、古川小学校4年生総合学習・摂津市「木津川に学ぶ」共同企画（主催摂津市）で出前授業を実施。

古川小学校出前授業では、実施を希望される場合早く依頼をしてもらうように申し入れ、改善された。また小学校総合学習の場合、興味・関心を引く内容の工夫、又質疑応答を含めゆったりした時間配分による展開計画を作る必要がある。

又一年間を通して、宇治市立広野中学校科学部の名木川水質調査で出前授業を継続的に実施。

1月23日（土）の近畿「子どもの水辺」交流会での調査発表に繋げた。

4. 3 木津川とその支流の水質モニタリング

(1) 活動目的

2009 年度までは、木津高校化学クラブ顧問として「木津川とその支流の水質汚染について」夏と冬の年 2 回水質調査を実施してきた。河川レンジャーになってからは、水ウォッチングを実施した河川を中心に、地域から要望された河川も取り入れてモニタリングを実施してきた。(ユニメーターや器具は、やましろ里山の会の協力によっている。)特に、昨年 10 月 10 日の第 5 回木津川一斉水ウォッチングでは、本流 5 地点支流 16 地点のモニタリングを実施した。

今年度も、河川レンジャー活動として「水ウォッチング」を実施するが、対象河川の正確なモニタリングを中心に実施していきたい。その最大の目的は、外部に対しても信頼の置ける測定を行うことで、川の環境を水質という点から明確化し、環境保全の取り組みの進み具合や目標を明らかにすることである。そのためにも、行政含めた結果の広報活動を重視したい。

更に、これらのデータも水ウォッチングで目標とした木津川汚染マップ作成に生かしていきたい。また、環境学習の出前授業での教材として活用することで、川の水環境保全活動に貢献できるものと考えている。更に、自身のHP や河川レンジャーのHP に掲載し、広く情報発信をする。

なお活動の際、流域の住民団体・個人の協力を組織することを大切にし、地域連携を進め、環境保全への関心が高まるように工夫していきたい。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 28 年	4 月	名木川数地点(名木川水ウォッチングで)
	5 月	
	6 月	
	7 月	山田川水質モニタリング (数地点)
	8 月	
	9 月	上狛川・古川数地点(上狛川クリーン作戦・古川水ウォッチングで)
	10 月	3 日(土) 木津川一斉水ウォッチング 木津川本流 5 支流 16
	11 月	
	12 月	山田川水質モニタリング (数地点)
平成 29 年	1 月	
	2 月	上狛川水質モニタリング (数地点)
	3 月	

※水質モニタリングは、水ウォッチングの水質調査まとめの基礎データ収集を目的に実施する予定です。従って、実施日も水ウォッチング当日となる場合が多い。

(2) 連携等

- 団体との共催・協力
- 団体名 (各水ウォッチングの共催・協力団体、やましろ里山の会)

(3) 参加対象者・定員

○河川により、採水・測定について沿川の団体からスタッフ協力をいただいている。

　　団体名（各水ウォッチングの共催・協力団体）

○定員：木津川一斉水ウォッチングの際は、約20名のスタッフ。

　　他は、1名～5名

(4) 実施内容

南山城村から八幡までの木津川とその主な支流を対象に、ユニメーターで水質調査を実施。

主な項目は、水温・気温・pH・COD・アンモニア性窒素・亜硝酸性窒素・硝酸性窒素・全窒素・陰イオン界面活性剤である。

(5) 実施日

木津川支川は、水ウォッチングの当日を基本に実施。

10月8日(土) 木津川一斉水ウォッチング

(6) 実施場所

南山城村から八幡までの

木津川とその主な支流

(7) 安全対策

暑い時期の場合は、熱中症対策。交通安全の注意喚起。危険箇所の事前把握と対策。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

里山の会や共催団体から、その時々に応じて必要な人数(1～20名)

(9) 広報・募集方法

木津川支川は、特にモニタリングだけの場合は、公募はしない。但し、木津川一斉水ウォッチングは、水の持ち込み企画も含め広報する。方法は、水ウォッチングと同様である。

(10) 必要支援内容

必要に応じて、移動・運搬手段

結果の発信が必要な場合、印刷・郵送など

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

計画の作成、スタッフ依頼、河川の下見や観察、記録(写真含め)、水質調査とそのまとめづくり、結果の発信

(12) その他

同一地点の水質モニタリングを同時期に継続することで、データの信頼性をより高いものとすること、そしてそのデータを如何に分かりやすく住民や行政の方々に発信・広報していくのかが課題である。

前年度は、多忙な中で水質調査の分析・まとめ作成が1ヶ月遅れとなることが多かった。

もう少し、早くまとめを作成し、発信することも重要な課題である。

4. 4 宇治市環境展出展

(1) 活動目的

地元宇治市では、河川レンジャーの活動があまり知られていないように思えるので、引き続き宇治市が毎年実施している環境展に展示物として「河川レンジャーの活動内容」「木津川や宇治市を流れる川の水質」「宇治市を流れる川沿いに生きる生物」などを展示しようと考えている。

展示を通して、河川レンジャー活動を知ってもらうこと、また川の水質変化を知ってもらい水環境保全の大切さを考えもらうこと、厳しい環境下でもたくましく生きている生物の存在を知ってもらい川の存在意義を考えもらうことをねらいとして、取り組みたい。

またこの活動を通して、宇治市(主に環境企画課)との信頼関係を築き、今後の更なる活動に繋いでいくことも大切なポイントである。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 28 年	4月	
	5月	パネルの内容検討 パネル作成、打合せ、下見
	6月	宇治市環境展(中旬1週間) (昨年と同時期なら6月6日～19日)
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	平成 29 年	1月
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 他団体の活動（行事）への出展等
- 団体名（宇治市・エコット宇治）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：宇治市民
- 定員：宇治市役所のロビーで実施するので、特になし。

(4) 実施内容

展示

(5) 実施日

6月中旬 1週間（日程未定）

(6) 実施場所

宇治市役所 ロビー
(宇治市宇治琵琶 33 番地)

(7) 安全対策

特に必要なし

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

必要に応じて、スタッフ 1名程度（展示物等の運搬と掲示）

(9) 広報・募集方法

宇治市の広報
河川レンジャーホームページ
やましろ里山の会ホームページ

(10) 必要支援内容

国土交通省淀川河川事務所
展示パネルや配付資料印刷・河川レンジャーニュースの準備
必要に応じて、運搬手段の提供、設置用資材の準備・購入

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

宇治市環境企画課との打合せ
パネル内容の検討
資料・パネルの作成
広報活動
協力スタッフの依頼と打合せ
設置用資材の準備
活動のまとめ作成

(12) その他

4年間の展示実績の上に立って、早くから参加申し込みや準備を進める。展示内容の工夫。開催時期が不確定なので、担当の宇治市環境企画課との連絡を密にすること。又昨年から、主催のeco ット宇治に参加したことでの連携がよりスムーズに進められるようになった。

4. 5 宇治環境フェスタ出展

(1) 活動目的

地元宇治市では、住民団体の環境に関する活動の紹介をねらいとして「宇治環境フェスタ」が実施されている。昨年度も11月8日に実施ということで、体験コーナーを含む出展依頼が来た。今年度も引き続き環境フェスタに出展し、河川レンジャーの活動の紹介や「木津川や宇治市を流れる川の水質」「宇治市を流れる川沿いに生きる生物」などを展示しようと考えている。又宇治市立広野中学校科学クラブで指導している名木川水質調査のまとめを発表・展示・広報していく場としても位置づけている。当日は、科学クラブの部活動としても位置づけ、発表などを通して大きな成長の場となるように取り組んでいきたい。

展示を通して、河川レンジャー活動を知ってもらうこと、また川の水質変化を知ってもらい水環境保全の大切さを考えもらうことをねらいとして、取り組みたい。

又、例年好評の参加型体験コーナー(よし笛作り等)も工夫していきたい。

宇治市環境展と同じく、この取組を通じて行政や地域の住民団体等の信頼を得、次の活動に繋がるようにしていきたい。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 28 年	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	第1回打合せ
	9月	パネル作成
	10月	第2回打合せ、広野中学校科学部との打合せ
	11月	宇治環境フェスタ(初旬)
	12月	まとめ作成
	平成 29 年	1月
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 他団体の活動(行事)への出展等
- 団体名(宇治市)

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象:宇治市民他
- 定員:特になし

(4) 実施内容

展示と要請に応じ体験コーナー

(5) 実施日

11月（日程未定）

(6) 実施場所

未定

(7) 安全対策

体験コーナーでのよし笛作りでは、カッターの危険防止対策をする。指導の際、しっかり安全指導を行う。スタッフに事前の安全指導を徹底。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

宇治市立広野中学校科学部顧問2名、主に体験コーナーの管理・指導

(9) 広報・募集方法

宇治市の広報

河川レンジャーホームページ

自身の河川レンジャーホームページ

やましろ里山の会ホームページ

(10) 必要支援内容

国土交通省淀川河川事務所

展示パネルと配付資料印刷・河川レンジャーニュースの準備

必要に応じて、運搬手段の提供、設置用資材の準備・購入

体験コーナーの材料や器具の提供

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

宇治市環境企画課との打合せ

パネル内容の検討

資料・パネルの作成

体験コーナーの企画と準備

広報活動

協力スタッフの依頼と打合せ

設置用資材の準備

活動のまとめ作成

(12) その他

宇治市立広野中学校科学部の発表の場とも位置づけて取り組んだ。科学部の生徒たちは、特によし笛作り等の体験コーナーの指導で、大きな力を發揮してくれた。その取組の中で、生徒達が大きく成長する姿を見ることが出来、顧問の先生にもこの活動に参加することの意義を評価して頂けた。

4. 6 上狛川クリーン作戦（福井 RA と共同）

（1）活動目的

上狛は、周囲を堀に囲まれた集落で、長径約六百メートル、短径約三百メートルのほぼレモン形をした中世以来の環濠集落として有名である。かつては環濠がおよそ三間（約 5.4 メートル）もあって、地元では『浦の川』と呼ばれるほど水を豊かにたたえており、狛氏の居館のある狛城の堀であると同時に、農業用水路、悪水路として利用されていた。現在は、上狛川と呼ばれ、生活排水路・稻作用水路として利用されているが、水量の減少や水質の悪化が進み、10 年前よりジャンボタニシの大量発生により、その歴史的景観を損なう事態になっている。上狛川を美しくする会や上狛東部農地水環境保全会と一緒に駆除活動をしてきたことで、ジャンボタニシも減少してきている。2013 年 8 月 8 日には、この取組から学ぶということで近畿地方整備局が事務局をつとめる琵琶湖・淀川流域圏再生協議会の外来生物駆除検討会が「ジャンボタニシ駆除見学会」を開催したので、見学会での発表などの協力をした。但し、取組をしていない周辺場所での発生という新たな課題も出てきている。

昨年も、上記 2 団体と共にクリーン作戦として、ジャンボタニシ駆除・川掃除・生き物調査・水質調査を実施したが、今年度も内容を工夫しながら実施していきたい。又この取組が継続する中、ジャンボタニシ駆除薬スクミノンへの補助金が実現するという大きな成果が見られた。木津川市の職員の方々も参加・注目してきている取組を、今後も継続していくため、上狛川を美しくする会や上狛東部農地水環境保全会等を通して地元の住民の方々への働きかけをより強めることが必要である。

なお「上狛川クリーン作戦」は、昨年同様福井 RA との共同の企画である。

活動実施スケジュール

実 施	
平成 28 年	4月
	5月
	6月
	7月 地元の住民団体と打合せ
	8月 チラシ作成・広報
	9月 10 日（土） 上狛川クリーン作戦
	10月 まとめ作成
	11月
	12月
	平成 29 年
	1月
	2月
	3月

(2) 連携等

- 団体との共催
 - 団体名（上狛川を美しくする会・上狛東部農地水環境保全会）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：主に木津川市を中心とした木津川流域住民 小学生以下は保護者同伴
団体名（上狹川を美しくする会・上狹東部農地水環境保全会）

○定員：30名

(4) 实施内容

- 9:00 集合・受付
9:10 河川レンジャー挨拶・共催団体挨拶・参加者紹介
9:20 日程説明と諸注意
9:30 ジャンボタニシ駆除・川掃除・生き物調査
11:00 水質調査
11:40 まとめと反省
12:00 解散

(5) 実施日

平成25年9月6日(日)

(6) 実施場所

木津川市山城町上狛川、JA京都やましろ(農協)



(7) 安全对策

下見の際に、危険箇所の把握。暑い時期なので、熱中症対策。(水分補給・休憩の確保等)危険箇所への対策と事前指導の徹底。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

上狛川を美しくする会、上狛東部農地水環境保全会、やましろ里山の会などより5名

(9) 広報・募集方法

河川レンジャーホームページで募集

自治体広報紙での募集案内

一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内

やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ

流域にある、公共施設などの募集案内チラシ設置

山城町上狛・椿井地区長への案内、各諸団体への案内
流域の掲示板展示

(10) 必要支援内容

国土交通省淀川河川事務所

募集案内チラシ、資料、アンケートの印刷、水質調査用パックテスト準備
河川レンジャー幟・バインダーの借用、救急セットの借用

上狛東部農地水環境保全会

網・水槽、バケツ・長靴の借用

自治体

広報紙での催事案内記事の掲載

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

呼びかけに賛同される皆さんや団体との打合せ

協力スタッフの依頼及び打合せ

募集案内チラシ・資料・アンケート・の作成

広報活動・参加者募集

安全通路の確保と現地下見

参加申し込み受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートのまとめ 活動報告のまとめ

(12) その他

暑い時期での計画なので、熱中症対策が重要。水質調査の会場として適当な場所がなく、その確保も引き続き課題である。

4. 7 第10回近畿「子どもの水辺」交流会兵庫大会での発表

(1) 活動目的

近畿「子どもの水辺」交流会は、その募集案内に『近畿「子どもの水辺」交流会は、身近な水辺活動を広く発信していただくもので、「水辺」への関心、上下流・府県間など「水辺」に関わるみなさんの交流を深め、水辺活動の継続・広がり、地域ぐるみで共につくり、守り、育てる水辺づくりを目指しています。』とその目的が書かれている。この交流会は、近畿の水辺活動団体等・近畿の学生・近畿地方整備局・近畿各府県等が実行委員会を構成して主催しており、住民と行政が連携した大きな企画であり、これを成功させることは河川レンジャーの存在目的にもかなうものである。

4年前から指導している宇治市立広野中学校科学クラブ水質調査出前授業の成果を1月の第9回奈良大会で発表した。3回目の取組となつたが、その中で子どもたちは大きく成長した。

今年度も、科学部顧問の先生方と相談しながら兵庫県で開かれる大会に参加し、身近な河川調査(水質調査を中心とした)の発表を通して、その成功に少しでも貢献できればと考えている。

活動実施スケジュール

		実 施
平 成 2 8 年	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	発表内容の検討
	11月	発表準備
	12月	発表準備
平 成 2 9 年	1月	21日(未定) 近畿「子どもの水辺」交流会兵庫大会での発表
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 団体との共催・協力 団体名(宇治市立広野中学校科学部)
- 他団体の活動(行事)への発表参加
団体名(近畿各府県を含む近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会)

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象: 宇治市立広野中学校科学部員
- 定員: なし

(4) 実施内容

名木川の水質調査を中心とした河川調査の発表

(5) 実施日

1月 21 日(土) (実行委員会からの公式発表はまだ)

(6) 実施場所

未定

(実行委員会からの公式発表はまだ)

(7) 安全対策

引率の際に、交通安全の指導

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

宇治市立広野中学校科学部顧問 引率と発表指導

(9) 広報・募集方法

参加者は固定。

(10) 必要支援内容

国土交通省淀川河川事務所

発表に関わる材料物品の準備等

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

発表内容も含めた発表指導と準備・打合せ

活動のまとめ作成

(12) その他

発表できる内容を名木川水質調査出前授業の中から準備・整理しておくこと。

小学校や幼稚園の子どもたちも参加するので、発表の形式を工夫し、更に分かりやすく楽しいものになるようにしていきたい。

平成 28 年度 河川レンジャ一年間活動計画

木津川出張所管内河川レンジャー 連携

4. 1. 親子花見乗船体験・木津川展

■連携する河川レンジャー名

木津川管内河川レンジャー 田中実知世・山田信人・山村武正（河川レンジャーアドバイザー）
福井波恵（河川レンジャーアドバイザー）・G レンジャー

■連携理由

この展示全体を通して、木津川の素晴らしさや課題を多くの住民に知ってもらうことは、各レンジャーの活動目的の達成に繋がるものである。元々地元の自治会等で組織された実行委員会から、木津川管内河川レンジャー全体に協力要請があつて始まったものであるが、展示会場の大きさから見ても、内容や展示物を各レンジャーの活動目的に沿ったものを合わせて実施することが必要である。

■連携における河川レンジャー間の役割分担

展示パネルを各自の得意分野を中心に分担し、作成・手配をする。また実行委員会との連絡は、山田 R が担当。流域センターからの荷物運搬は、各 R が担当。当日、GR と田中 R は、ライフジャケット着用指導。福井 RA と田中 R は、近畿水辺交流会の発表パネル説明。山田 R は主に、木津川の水質調査のパネル説明。山村 RA は、主に木津川の植物のパネル説明。福井 RA は、木津川の魚のパネル説明。

(1) 活動目的

地域の水路として改修され、その堤に桜並木が美しい景観をつくりだしている馬坂川での、小舟による親子花見乗船体験は約 4 時間の取り組みだが、大変な人気である。この活動も今年で 8 回目となり、京田辺市の春の行事として定着をするとともに、多くの団体をまきこんで町づくり、川づくりの一環として地域からも期待される取り組みに成長してきた。

今年も地元商店街や自治会・摂南大学の大学生の皆さんと連携し、輪を大きくしていくため木津川出張所管内河川レンジャーが参加・協力すると共に、木津川の豊かな自然と抱えている課題についての理解を深めて貰うことをねらいに、共同して木津川展を実施する。

活動実施スケジュール

実 施	
平成 28 年	3月 地元商店街や自治会との打合せ、パネルの検討・準備等
	4月 3日親子花見乗船体験・木津川展
	5月 まとめと報告書の提出
	6月
	7月
	8月
	9月
	10月
	11月

	12月	
平成 29 年	1月	
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 他団体の活動（行事）への出展等
- 団体名（田辺団地連合自治会を含めた自然ふるさと祭実行委員会）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：地域住民
- 定員：特になし

(4) 実施内容

- 木津川の現状と課題について展示（以下は予定）
 - ・木津川の防災・減災
 - ・木津川の環境改善に向けた竹蛇籠製作・設置
 - ・木津川の植物たち

(5) 実施日

4月3日(日)

(6) 実施場所

府営田辺団地第3集会所

(7) 安全対策

- 乗船時はライフジャケット着用
- 寒いこともあり、その場合は室内暖房。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

数名…主に展示準備と受付

(9) 広報・募集方法

- ・チラシの公民館や図書館等公共機関への設置
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載
- ・新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼 当日の取材案内

(10) 必要支援内容

淀川河川事務所…ライフジャケット貸与、展示物等の印刷、プラダンの提供、河川レンジャー News 提供
やましろ里山の会…スタッフ派遣

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

協力スタッフ依頼と手配、会場下見、事前打合せ
展示物の計画・準備・作成、参加者名簿作成
当日の運営、アンケートまとめ、活動報告まとめ

(12) その他

人手も含め可能であれば、体験ブースを設置。（よし笛作り・野鳥の塗り絵等）

4. 2. 木津川一斉清掃と淀川流域クリーン大作戦(仮称)

■連携する河川レンジャー名

木津川管内河川レンジャー

山田信人・田中実知世・福井波恵（レンジャーアドバイザー）
・山村武正（レンジャーアドバイザー）

■連携理由

木津川は、自然豊かな河川であるが、同時にゴミが随所に散らばり環境問題となっている。この活動を通して、木津川のかかえるゴミ問題を多くの住民に知ってもらい、改善に向けて地域と共にアクションをおこしていくことは、各レンジャーの活動目的の達成に繋がるものである。広大な管内をカバーするには、各河川レンジャー・レンジャーアドバイザーが担当拠点を決めてそれぞれ同時に活動する必要がある。また2017年2月12日(日)の第10回桂川クリーン大作戦に合わせて淀川流域(淀川三川含めて)全体で取り組む一斉清掃を企画しており、木津川管内もこれに合流して清掃活動に取り組む。

■連携における河川レンジャー間の役割分担

準備段階では、田中レンジャーがチラシを作成し、各河川レンジャー・レンジャーアドバイザーがそれぞれの地域におもむき自治体、(漁協消しました)NPO、地域のグループなどに参加を呼びかける。参加呼びかけの看板を河川レンジャー全員で全拠点および清掃ポイントに掲出。活動当日は6箇所の拠点を各河川レンジャー・レンジャーアドバイザー・協力スタッフが担当し、地域住民と一緒にクリーンアップをおこなう。特に2月予定の淀川流域クリーン大作戦(仮称)では、河川レンジャー・レンジャーアドバイザーが力を合わせ、木津川エリアの事務局としての調整役を果たしていきたい。

(1) 活動目的

木津川河川敷は、砂礫の河原、河畔林、農耕地、グランドなどが混在しており、農耕地周辺では、肥料袋・マルチなどの農業資材・野菜などが放棄され、散歩やサイクリング、運動など利用者が多いグランド周辺では、ペットボトル、空き缶などのゴミがポイ捨てされている。また自然の河原でも上流からながされてきた漂着ゴミが見られる。夏には河原や橋の下でバーベキューを行う人の大量のゴミの放棄が見られる。ゴミは、木津川に流れ込み、洪水とともに淀川へと流されていき水系全体の環境悪化を引き起こしている。これらのゴミ問題を地域住民と情報共有し、改善にむけてクリーンアップで協働する。昨年は、初めて木津川漁協・木津川を美しくする会との共催が実現し、木津川一斉清掃という名称で18ヶ所の拠点・245名の参加でゴミ拾いをすることができた。今年も広く諸団体に取り組みを知らせ、とりわけ行政の後援や参加協力をお願いしていく。2月の淀川流域クリーン大作戦(仮称)では、淀川管内河川レンジャー全体が一緒になって、行政も連携・参加する大きな企画を実現することで、河川レンジャーの存在をアピールすることに繋げていきたい。

活動実施スケジュール

		実施
平成 28 年	3月	木津川漁協・木津川を美しくする会・河川Rの3者による打合せ (この際、来年2月12日の淀川流域クリーン大作戦(仮称)について協力依頼)
	4月	企画立案、チラシ作成、参加団体募集呼びかけ
	5月	呼びかけポスターの掲出(木津川管内13箇所) 28日(土) 第2回木津川一斉清掃
	6月	結果まとめ
	7月	

	8月	淀川流域クリーン大作戦(仮称)全体の打合せ
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
平成 29 年	1月	淀川流域クリーン大作戦(仮称)に向けての打合せ (木津川エリア)
	2月	12日(日)淀川流域クリーン大作戦(仮称)…予備日 28日(日)
	3月	

(2) 連携等

- 他団体との協働による取組み
- 団体名 (Gレンジャー、NPOやましろ里山の会、木津川漁協、木津川を美しくする会、城陽市教育委員会、少年野球チーム親子、木津川出張所、木津川エリアの各自治体、田中組、松美建設、立命館宇治高校、加茂の水と緑を守る会、木津高校ボランティア部、JA南山城村支店、高山ダム、南山城村プロジェクト等広く呼びかける。)

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
- 定員：特になし

(4) 実施内容

木津川漁協・木津川を美しくする会・やましろ里山の会等と木津川管内河川レンジャー・河川レンジャー・アドバイザーの共催

- 南山城村恋路橋から三川合流まで約20箇所の拠点付近のゴミ拾いを行う。
- クリーンアップへの参加呼びかけ看板の設置を1ヶ月前に行う。
- 日程
 - ・清掃は午前中(9:00～10:30頃)の行動とする。
 - ・河川レンジャーは6か所を分担して行う。
 - ・個人参加の場合、ゴミはポスター杭のある場所に置いてもらう
 - ・団体参加の場合は事前に参加予定人数と清掃範囲、責任者、ゴミ収集予定地の連絡を頂き、ゴミ袋の提供を行う。終了時点で河川レンジャーに連絡いただく。
- 国土交通省木津川出張所に収集ゴミを速やかに収集していただく。

(5) 実施日

5月28日(土) 第2回木津川一斉清掃

2月12日(日) 淀川流域クリーン大作戦(仮称)…予備日 2月26日(日)

(6) 実施場所

拠点・やまなみホール、恭仁大橋、開き橋、
山城大橋、城陽市桜堤、流れ橋等約20地点
呼びかけ範囲は木津川管内全域

(7) 安全対策

気温が高い場合は、熱中症対策として、水分
補給や適宜休憩を入れるなどについて注意。
また、長時間にならないよう早めに切り上げる。蜂やまむし等の注意喚起。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

数名…NPOやましろ里山の会 各拠点周辺のクリーンアップに関わる運営補助、安全管理

(9) 広報・募集方法

- 淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- 運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載、週刊ニュース掲載
- 運営会議対象区域内の公共施設、図書館等への募集案内のチラシ配布
- 各河川レンジャー・レンジャー・アドバイザーの地元団体への参加呼びかけ
- 運営委員や社会体育協会等の協力も得ながら、河川運動公園を利用しているスポーツ団体に
参加を呼びかける。
- 堤防での13本のクリーンアップポスターによる呼びかけ

(10) 必要支援内容

淀川河川事務所…募集案内の送付、ポスター・チラシ印刷、チラシ送付、杭の提供13本 ポスターの
ラミネート13枚、軍手・ゴミ袋の支給、火ばさみの用意
収集ゴミの撤収、看板の撤収
やましろ里山の会…スタッフ派遣

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案、協力スタッフ依頼と手配・打合せ、清掃活動参加呼びかけポスターの掲示、
木津川沿川自治体への後援申請と参加協力依頼、チラシ配布、広報活動、参加者募集、参加申し
出の受付、ゴミ袋の支給手配、当日の運営、ゴミ収集状況のまとめ、ゴミ収集依頼、活動報告の
まとめ

(12) その他

昨年度より始まった木津川漁協・木津川を美しくする会との共催による木津川一斉清掃の着実
な発展を目指す。

4. 3. 木津川市夏祭りロビー展

■連携する河川レンジャー名

木津川管内河川レンジャー 田中実知世・山田信人・福井波恵（河川レンジャーアドバイザー）

■連携理由

木津川市夏祭り実行委員会からの要請で、2012年度から共同でロビー展を開催している。（夏祭りへの協力は、2011年度から）ロビーの大きさや開催期間の長さからも、木津川管内河川レンジャーが連携協力して取り組んできた。木津川の素晴らしさや抱える課題を学んでもらうことは、各レンジャーの活動目的の達成に繋がるものである。

■連携における河川レンジャー間の役割分担

展示パネルを各自の得意分野を中心に分担し、作成・手配をする。展示内容の詳細は今後検討することとなるが、当時は各レンジャーの活動目的に沿った得意分野を分担して解説に当たる。また、数日間の管理責任者を各自で分担。

（1）活動目的

今回で5回目を迎える活動だが、基本的に木津川の自然や抱えている課題を広く木津川市民のみなさんに知ってもらうことを通じて、木津川への関心を高め、木津川の環境保全の大切さを訴えることを目的として実施している。

木津川市夏祭りは、木津川市や木津川市観光協会など行政と住民組織が実行委員会を作り、取り組んでいるものである。その実行委員会に参加して行う企画は、行政と住民を繋ぐという河川レンジャー本来の目的にもかなった活動と考えられる。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 8 年	4月	
	5月	実行委員会での打合せ
	6月	レンジャー打合せ・企画・準備等
	7月	
	8月	2日(火)～4日(木) 木津川市夏祭りロビー展
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	平成 2 9 年	1月
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 団体との共催
- 団体名（木津川市・木津川市観光協会等多くの住民団体）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：地域住民団体名（）
- 定員：特になし

(4) 実施内容

木津川の現状と課題について展示（以下は予定）

- ・木津川の防災・減災
- ・木津川の野鳥たち
- ・木津川の植物たち
- ・木津川の環境改善に向けた竹蛇籠製作・設置

(5) 実施日

8月2日（火）～4日（木）

(6) 実施場所

木津川市役所 1階ロビー

(7) 安全対策

特に必要なし

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

数名…受付・展示物の管理等

(9) 広報・募集方法

- ・木津川市夏祭り実行委員会作成のチラシ
- ・新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼 当日の取材案内

(10) 必要支援内容

淀川河川事務所…展示物等の印刷、プラダンの提供、河川レンジャーNews 提供
やましろ里山の会…スタッフ派遣

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実行委員会に参加し、打合せ
- 協力スタッフ依頼と手配、事前打合せ
- 展示物の計画・準備・作成、参加者名簿作成
- 当日の運営、アンケートまとめ、活動報告まとめ

(12) その他

4. 4. 地域で考えよう！防災

■連携する河川レンジャー名

木津川管内河川レンジャー 田中実知世・山田信人・福井波恵（河川レンジャー・アドバイザー）

■連携理由

この活動は、地域ぐるみで防災意識を高めるために、河川レンジャー活動が始まってから木津川沿川自治体を対象に順番に行っている活動である。防災を多角的に学べる企画であるために、洪水体験施設、土のう作り体験、簡易水防、水害のお話、水害の展示、国交省の災害対策車展示等多数のコーナーで展開する。その体験コーナーを運営するためには、河川レンジャー・レンジャー・アドバイザーが各々の持ち場で運営、説明する必要がある。この活動を通して地域の防災意識を高めることは各レンジャーの活動目的に沿ったものである。

■連携における河川レンジャー間の役割分担

自治体等との打合せ・展示パネル作成・淀川河川事務所との打合せ・会場下見・全体企画案づくり等を適宜分担しながら進める。当日の体験コーナーの運営を河川レンジャー各自の得意分野を中心分担し、参加者が防災について多角的に学べる活動にする。

（1）活動目的

昨年は、昭和 28 年木津川流域にも大きな被害をもたらした「山城大水害」から 62 年であった。またここ数年の間に宇治市や南山城地域全域で豪雨被害が出て、洪水や天井川の決壊の恐ろしさを見せつけられた。2013 年台風 18 号による大雨で、山城大水害以来といわれる降水量を記録し、この地域ではじめての特別警報が発令され、流域各所では内排水被害が出たが、おかげでダムや樋門の役割について再認識することができた。

近年では地球全体の気象変動により降雨状況が激化し、ゲリラ豪雨にみられるような異常気象が常態化し、昔とは違ったタイプの水害に対する心構えも必要となってきている。

この活動は 2012 年には精華町で開催、2013 年は久御山町総合防災訓練への参加団体として国交省淀川河川事務所とともに洪水体験施設、「山城大水害」に関する展示、家庭でできる簡易水防の展示説明をおこない、地域防災の啓発に努めた。2014 年は京都府総合防災訓練に木津川管内河川レンジャーとして参画、引き続き昨年は和束町防災訓練に参画した。

今年度は笠置町の防災訓練に協力する。地域ぐるみの防災意識を高めることを目的に、「地域で考えよう防災」を木津川管内河川レンジャーの共同の取組としてレンジャー・アドバイザーの協力を得ながら実施する。

活動実施スケジュール

		実 施
平 成 2 8 年	4月	笠置町総務課打合せ、淀川河川事務所に洪水体験施設借用お願い
	5月	
	6月	会場確認、実施計画の立案、雨天対策の検討、
	7月	
	8月	

	9月	
	10月	会場下見、資料作成
	11月	実施（日程未定）、報告書作成
	12月	
平成 2 9 年	1月	
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 団体との共催
- 団体名（笠置町役場）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：地域住民
- 定員：特になし

(4) 実施内容

洪水体験施設（水中歩行体験・水没ドア）　土嚢つくり　水害体験談
 S28年山城大水害を中心とした展示　笠置町災害の記録　簡易水防　マイ防災マップ
 プログラム　笠置町防災訓練に準じる

(5) 実施日

2016年11月予定

(6) 実施場所

（未定）

(7) 安全対策

夏期の開催になる場合は、熱中症対策として水分補給や適宜休憩を入れること。
 热中症患者が出た時は、早急に冷房のきいた室内に搬送し体を冷却し、容態を確認する。
 体験に関してはシャベルの使用方法、洪水体験施設などが転倒をする可能性のあるものに
 関しては安全確認ができるスタッフを配置する。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ　やましろ里山の会：2名（運営補助、安全管理）
 講師（予定）　　榎永さん、地域の水害体験者

(9) 広報・募集方法

- ・笠置町広報
- ・新聞各社へ当日の取材案内

(10) 必要支援内容

淀川河川事務所

洪水体験施設などの体験器具一式の提供、土のう作り体験器具一式の提供、簡易水防一式の提供、資料・アンケートの印刷、講師謝金の支払い

笠置町

開催日時・開催場所の調整、自治体広報紙での催事案内記事の掲載、自治体内での同様活動団体の紹介

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案、講師依頼、協力スタッフの依頼及び打合せ

当日の運営、アンケート・活動報告のまとめ、

(12) その他

現在、笠置町の防災訓練に協力する形での実施を計画し、関係機関と調整中。

4. 5. 木津川沿川活動団体交流会

■連携する河川レンジャー名

木津川管内河川レンジャー 山田信人・田中実知世・福井波恵（河川レンジャーアドバイザー）

■連携理由

この交流会を通して、沿川の団体や個人が交流しそれぞれの課題を共有するようめざすことは、各レンジャーの活動目的の達成に繋がるものである。この交流会は今回で9回目になるが、これまで同様 木津川管内河川レンジャー全員の共同作業と、レンジャーアドバイザーの協力により実施可能である。

■連携における河川レンジャー間の役割分担

開催に向け、数回の準備会議を行うが、全員出席を原則とし、全員でテーマ設定等開催内容を相談決定し共有していく。その上で各自の得意分野を中心に分担し、準備、運営をする。講演者への依頼は、田中 R が担当。関係団体との連絡調整は各 R がこれまでのつながりを生かして主として地元を担当する。

（1）活動目的

木津川とその支流の流域には、多くの住民団体があり、昔のように綺麗で自然豊かな川環境を取り戻そうと活動している。

1997 年河川法に「河川環境の整備と保全」が加えられ、環境に配慮した河川行政が開始され 19 年目になります。しかしながら、私達が活動の場とする木津川は、河床低下・ワンドやタマリの消失・魚の減少・水質の悪化など多くの課題を抱えたままになっている。また近年は洪水や内排水被害などが頻発し、木津川流域の防災・減災への関心が住民の間で高まっている。こうした中、流域で活動する団体が集まり、木津川の現状と課題を学び、相互の理解を深め、交流する機会を設けることは、生物が多様に生育できる木津川の川づくりに向けた取組・地域の災害安全度を高める取組みを進めていく上で、重要な意義を持っている。

この企画は、今年度で第9回を数えるが、ここ2回は、住民参加者一同として合意を形成し、「みんなの願い」という形の提言を発信することができるようになった。今後も 地域団体や個人に丁寧な働きかけを行うとともに、他地域の活動から学ぶという視点を忘れずに、実施していきたい。また行政関係者の参加協力が進むように、更に働きかける。

活動実施スケジュール

実 施	
平成 28 年	3月
	4月
	5月
	6月
	7月
	8月
	9月
	10月 実施計画の立案、会場手配
	11月 講師依頼、後援申請依頼、チラシ案作成、広報手配
	12月 案内文郵送、チラシ作成・配布 資料作成、参加者名簿作成
平成 29 年	1月 アンケート作成 29日(日)木津川沿川活動団体交流会 開催 当日の会場設営、運営
	2月 アンケート、参加者名簿整理、活動のまとめ作成
	3月

（2）連携等

○団体との共催・他団体の活動（行事）への出展等

○団体名（　　）

(3) 参加対象者・定員

- 主として木津川流域内の団体及び地域住民、ただし流域外の団体や個人も可とする。
- 定員：50人

(4) 実施内容

- ・基調講演
- ・特別報告…沿川活動団体2～3(各10分程度)
- ・意見発表
- ・交流会
- ・活動内容のポスター展示発表

(5) 実施日

1月29日(日)

(6) 実施場所

京田辺市 京田辺中央公民館（予定）
(京田辺市田辺丸山 tel. 0774-62-2552)

(7) 安全対策

特になし。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：やましろ里山の会 数名

(9) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャーホームページへの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報への募集案内掲載
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載（12月～1月）
- ・新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼 当日の取材依頼
- ・各自治体の公民館・図書館等の公共施設へのチラシ設置
- ・河川レンジャーより関連市民団体への参加呼びかけ

(10) 必要支援内容

淀川河川事務所

- ・募集案内の送付協力
- ・運営会議対象区域内の公的施設・活動団体への参加案内送付
- ・運営会議対象区域内自治体の広報誌への記事掲載依頼
- ・資料、アンケート印刷
- ・講師の交通費・講師料の支払い
- ・会場代・空調代の支払い
- ・淀川管内河川レンジャーの展示物、配布物準備

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画を立案、自治体等への後援申請 会場申し込み
募集案内作成 参加者募集チラシ作成 参加申し込み受付
協力スタッフ依頼と手配 当日の進行プログラム作成 打合せ
展示物準備・作成 参加者名簿作成
当日の運営 アンケートまとめ 活動報告まとめ

(12) その他

4. 6. 木津川マラソン河川レンジャー展

■連携する河川レンジャー名

木津川管内河川レンジャー 山田信人・田中実知世・山村武正（河川レンジャーアドバイザー）
福井波恵（河川レンジャーアドバイザー）

■連携理由

木津川マラソンは 精華町から三川合流地点までの堤防上をコースにして行われ、全国各地から6,000人を超える参加者を迎える、時間制限なしで、多くのボランティア団体と個人の手で行われる大会であり、ここを活動フィールドにしている木津川管内河川レンジャーとしては、それらの人々とともに大会に協力することは、大変重要である。

しかしながら 気象条件が厳しいことの多い厳冬の野外での長時間開催のため、準備や実施にかかる負担はきわめて大きいものがあり、連携によらない実施はほとんど実現困難である。

■連携における河川レンジャー間の役割分担

地元以外参加者を意識して、コースの全域写真を準備し、各人が得意とする展示を付け加える。当日の解説については、時間割で分担し過負担にならないようする。会場設営については、やましろ里山の会の会場設営と連携して効率よく行う。

(1) 活動目的

手作りマラソン、環境マラソンを掲げるこの大会に協力して、全国各地からの多くの参加者に、木津川の歴史・自然、そして木津川の抱える課題などを展示を通してアピールするとともに、河川レンジャーの存在や活動を知ってもらう。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 8 年	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
平成 2 9 年	1月	企画立案、展示物の準備、やましろ里山の会との準備スケジュール調整
	2月	前日準備 5日(日)木津川マラソン河川レンジャー展 展示説明 まとめ、記録作成
	3月	

(2) 連携等

- 他団体の活動（行事）への出展等
- 団体名（木津川マラソン実行委員会）

(3) 参加対象者・定員

- 全国のマラソン愛好家
- 定員：特になし

(4) 実施内容

草内運動公園周辺のパネル掲示
本部会場のランナーズショッピングテント内の展示

(5) 実施日

平成 29 年 2 月 5 日 (日)

(6) 実施場所

京田辺市草内木津川運動公園

(7) 安全対策

寒い時期なので、防寒対策に留意する。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

やましろ里山の会 数名

(9) 広報・募集方法

河川レンジャーとしては行わない。

(10) 必要支援内容

淀川河川事務所

- ・展示用のポスターなどの印刷・提供
- ・河川レンジャー News の提供



(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案・打合せ
- ・展示物の作成・手配
- ・前日準備
- ・当日の運営

(12) その他

4. 7. 木津川展

■連携する河川レンジャー名

木津川管内河川レンジャー 田中実知世・山田信人・福井波恵（河川レンジャーアドバイザー）

■連携理由

木津川流域の多くの住民団体と連携し信頼関係を築いていくことは、河川レンジャー活動の発展という視点だけでなく木津川についての住民の声をまとめていく上でも大きな意義ある活動であり、木津川管内河川レンジャー全体として責任を持って取り組む必要がある。

この活動は、木津川流域で活動する住民団体・有志と実行委員会を作り、木津川での自然や抱える課題の展示発表、又各住民団体の活動紹介を行うものである。河川レンジャーは、実行委員会事務局を担当し、この企画の中心になって推進する役目を担っている。この企画は、木津川流域全体を対象として行うのもあり、規模の大きさからも連携が必要である。また、会場の木津川流域センター全体を使って展示を行うことや期間が6日間に渡ることからも連携無くしては実施できない。

■連携における河川レンジャー間の役割分担

事務局としての役割（自治体後援申請・各団体への参加要請・実行委員会の準備や進行・チラシ作成・会場の展示案作成等）を分担。6日間の管理責任者を各自で分担。また当日の展示説明は、各自の得意分野を中心に臨機応変に行う。

（1）活動目的

木津川展に取り組んで2015年度で7回目となり、河川レンジャー活動から明らかになった木津川の現状を広く流域住民に周知していく場所として定着してきている。又、2回目からは実行委員会形式で行い参加団体も年々増え、木津川流域で活動している諸団体・個人の大切な交流の場となってきた。河川レンジャーにとっても、流域住民団体との信頼関係を築く重要な機会となっている。本年も木津川出張所管内流域センターで、以下のネライで木津川展を実施する。

- ・木津川の豊かな自然と抱えている問題点を多くの流域住民にしらせ、木津川への理解を深める。
- ・木津川流域で活動する住民団体の活動の成果・様子を展示し、活動への共感と支援を広げる。
- ・木津川出張所管内河川レンジャーが事務局となり、流域の住民団体や個人に広く呼びかけ、木津川展実行委員会を組織して実施する。そのことにより木津川流域で活動する多くの住民団体の交流を図り、相互理解を深め活動の発展に寄与する。
- ・この取り組みを通じて、木津川の活動拠点としての流域センターを広く知らせていく。
- ・昨年度は、共通テーマとして「木津川の防災」を設定して取り組んだが、今年度も何らかのテーマを設定して取り組んでいきたい。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 28 年	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	木津川展の立案 実行委員会の案内

	11月	第1回実行委員会開催 開催要項決定 後援申請
	12月	第2回実行委員会 展示打合せ(会場含め)
平成 29 年	1月	案内チラシ作成と配布 開催中の日程と仕事の分担打合せ
	2月	第3回実行委員会
	3月	4日(土)～6日(月)、10日(金)～12日(日)木津川展 活動のまとめ・後援団体への報告書提出

(2) 連携等

- 団体との共催
- 団体名（木津川展実行委員会に参加する流域住民団体 10数団体）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：地域住民
- 定員：特になし

(4) 実施内容

- 参加団体の作品や活動・成果の展示
- 子どもたちの作って遊ぼうコーナー
- 野外活動（野鳥観察会、木津川歴史ウォーク、連だこあげを実施）
- スライド等による活動紹介

(5) 実施日

4日(土)～6日(月)、10日(金)～12日(日)

(6) 実施場所

木津川出張所管内流域センター
(木津川市山城町北河原)

(7) 安全対策

外での活動の際は、しっかり防寒対策を呼びかける。連廻揚げでは、風向きに注意し、危険の無いよう充分に配慮。



(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 各実行委員会参加団体 各1名程度
- 協力スタッフ：やましろ里山の会 5名(運営補助・安全管理)

(9) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャー ホームページに募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報集案内掲載
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載
- ・新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼 当日の取材案内
- ・運営会議対象区域内の学校等教育機関、公民館、図書館などに募集案内チラシを設置。

(10) 必要支援内容

国土交通省淀川河川事務所

- ・募集案内の送付協力

運営会議対象区域内の公的施設・活動団体への参加案内送付

運営会議対象区域内自治体の広報誌への記事掲載依頼

- ・資料、アンケート印刷

- ・淀川管内河川レンジャーの展示物、配布物準備

- ・マスコミ各社への催事案内記事の提供

- ・会場の木津川出張所管内流域センターの提供

- ・展示やコーナーの設置等に必要な物品

自治体

- ・自治体広報誌での催事案内記事の掲載

- ・自治体内での流域活動団体の紹介

- ・自治体の後援許可

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

実行委員会参加への呼びかけ作成

実行委員会の運営、要項作成など事務局を担当

後援申請の諸手続

参加者募集チラシ作成 展示参加申し込み受付

協力スタッフ依頼と手配 当日の打合せ

河川レンジャーの展示物準備・作成 参加者名簿作成

当日の運営 アンケートまとめ 活動報告まとめ

(12) その他

運営会議対象区域内自治体で活動している住民団体名やその活動内容・連絡先の把握を如何に進め、きめ細かく連携を組織することできるかが課題の一つである。

行政関係者の参加協力が進むように、更に働きかける。